

優秀演題発表：第 33 回日本消化器癌発生学会総会の優秀演題 22 題が決定しました。

優秀演題

【シンポジウム】 9名

シンポジウム 1：免疫を考慮した消化器癌研究

- S1-3：石本 崇胤 先生（熊本大学大学院 消化器外科学）
「PDGFR 阻害によるスキルス胃癌間質リプログラミングを介した複合がん免疫療法」

シンポジウム 2：臨床応用を意識した消化器癌研究

- S2-3：西村 星多郎 先生（岡山大学大学院 消化器外科学）
「ドラッグデリバリーを改善させる CAFs を標的にした光免疫療法の効果」
- S2-7：徳永 卓哉 先生（徳島大学 消化器・移植外科）
「腫瘍関連マクロファージおよび大腸癌に対する 青色 LED の効果」

シンポジウム 3：多様性を持った癌細胞の制圧

- S3-5：西 正暁 先生（徳島大学 消化器・移植外科）
「CAF の糖代謝を標的とした治療法の開発 -フラボノイド (EGCG と Sudachitin) の可能性-」
- S3-6：下野 洋平 先生（藤田医科大学 生化学）
「最終分化の誘導によるマイクロ RNA 依存性の大腸がん幹細胞性抑制」

シンポジウム 4：癌の病態と予防、診断

- S4-1：足立 靖 先生（札幌しらかば台病院 消化器内科）
「血清スーパーオキシドディスムターゼ(SOD)活性と食道がん罹患リスク」
- S4-8：柳 昭 先生（熊本大学 消化器外科）
「膵癌伸展における糖代謝メカニズムと高血糖の役割解明」

シンポジウム 5：消化器癌の発生と進展

- S5-4：木村 沙織 先生（北海道大学 消化器外科学教室 I）
「大腸がんの再発転移におけるメトホルミンの免疫学的作用メカニズムの解明」
- S5-7：増尾 仁志 先生（信州大学 消化器・移植・小児外科学分野）
「ヒト膵癌細胞株におけるゲムシタビン耐性獲得と、ミトコンドリア変化および抗アポトーシス Bcl2 蛋白質発現亢進の関与」

【ワークショップ】 8名

ワークショップ：食道

- W1-1：塩見 真一郎 先生（東京大学 消化管外科学講座）
「食道癌に対する術前化学療法が転移リンパ節に及ぼす線維化の誘導因子に関する検討」
- W1-5：橋本 明史 先生（金沢医科大学 一般・消化器外科）
「バレット食道から発癌過程での微小環境の変化と GSK3 β 阻害による抑制効果」

ワークショップ：胃胆

- W2-5：久下 恒明 先生（東京大学大学院 消化管外科学）
「胃癌腹膜播種モデルマウスを用いた腹膜播種に対する 211At 標識抗 FGFR4 抗体による放射線免疫療法の検討」

- W2-11：山本 百合恵 先生（大阪公立大学大学院 癌分子病態制御学）
「胆管癌における CXCR2/CXCL1 シグナルの役割」

ワークショップ：大腸肝

- W3-2：齋藤 晶 先生（自治医科大学附属病院 消化器一般移植外科）
「糖尿病合併大腸癌のがん微小環境における好中球細胞外トラップ（NETs）の意義」
- W3-5：佐田 春樹 先生（呉医療センター・中国がんセンター 外科）
「遺伝子改変マウスモデルにおける粘液産生大腸癌のトランスクリプトーム解析」

ワークショップ：肝臓

- W4-5：森 大樹 先生（徳島大学病院 消化器・移植外科）
「慢性炎症状態の膵・胆管合流異常における NLRP3 活性化を介した腫瘍微小環境と発癌に関する検討」
- W4-6：Batbayar Chingunjav 先生（群馬大学 肝胆膵外科分野）
「RRN3 高発現は、膵臓癌の悪性度と予後不良に関与する」

【ポスター】 5名

ポスター1 食道胃

- P1-1：北村 優 先生（神戸大学大学院 病理学講座）
「マクロファージとの直接共培養によって食道扁平上皮癌において発現亢進する IL7R は癌細胞の生存・増殖能や運動能を亢進させる」

ポスター2 胃

- P2-4：朱 天慧 先生（千葉大学 分子腫瘍学）
「EBV 陽性胃癌におけるエピジェネティック制御異常の解析」
- P2-7：深見 知之 先生（京都府立医科大学 消化器外科）
「胃癌における Anoctamin 5 発現と腫瘍進行との関連」

ポスター3 腸

- P3-3：加藤 祐子 先生（順天堂大学 分子病理病態学）
「ヒト大腸癌オルガノイドと線維芽細胞のマウス共移植モデルによる実験的 CAFs の作製」

ポスター4 胃肝胆膵

- P4-3：伊藤 雄貴 先生（名古屋大学 消化器外科）
「GABRD を標的とした胃癌新規中和抗体の効果」

以上です。

選考委員となっていただきました座長の先生方に御礼申し上げます。
受賞者には後日表彰状をお送りいたします。